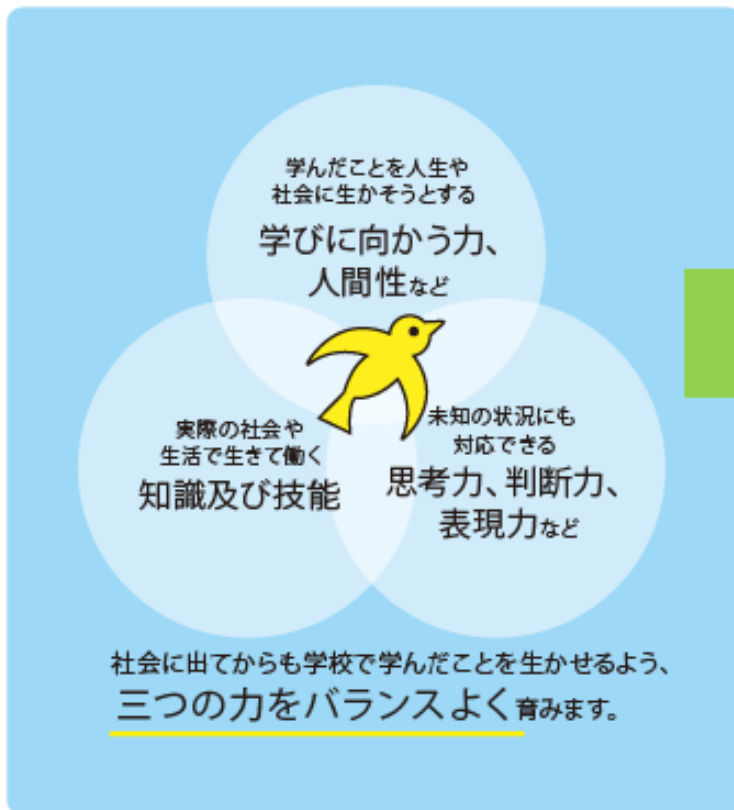


新学習指導要領では…

新しい学習指導要領で目指すこと
(3つの柱)



どのように学ぶか

基本の考え (アクティブラーニング)

「主体的な学び」になっているか

「対話的な学び」になっているか

「深い学び」になっているか

という視点から、
授業をよりよくしていく

森の里小では既に
取り組んでいます

新学習指導要領 算数科では

1

数学的な考え方 から
数学的な見方・考え方に

2

算数的活動 から
数学的活動に

3

数学的表現の重視

4

評価の観点がかわります

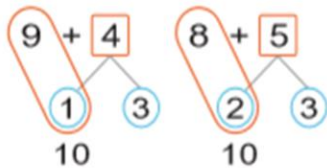
1 数学的な見方とは

【参考資料】 教育出版 「数学的な見方・考え方」を働かせ、豊かで確かなものとするために

事象を数量や図形及びそれらの関係に着目して捉えること

1年

こたえが10をこえるたしざんでは、まず**10のまとまり**をつくって、**10とあといくつ**という見かたをしました。



1年「たしざん」

数に着目

2年

長さをくらべたりあらわしたりするときは、**もとにする大きさ**をきめて、その**いくつ分**という見方をしました。



ものの大きさをあらわすときに、これからもつかっていく見方だよ。

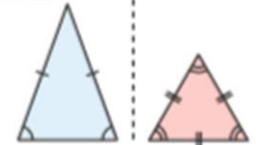
2上「長さ」

量に着目

3年

三角形のとくちょうを調べるときは、次のようなことに目をつけました。

- ・**辺の長さ**
- ・**角の大きさ**



3下「三角形」

図形に着目

4年

長方形の横の長さとなたての長さの関係を考えるとき、**きまり**を見つげるために、次のような見方をしました。

- ・数が変わると、ともな**って変わる数**を見つげる。
- ・数が変わっても、いつも**変わらない数**を見つげる。

4下「変わり方」

数量や図形の関係に着目

平行四辺形の面積を求めるときは、**面積の求め方がわかる形に変える**という見方を使いました。

長方形の面積なら求められるから…

面積を変えずに長方形に変形してみよう。



5年「四角形や三角形の面積」

図形に着目

6年

たくさんの画用紙の枚数のように、ある量が調べにくいときに、ほかの量との関係に着目して、**比例とみて**問題を解決することがあります。

身のまわりでも使っていきたい見方だね。



6年「比例と反比例」

数量や図形の関係に着目

1 数学的な考え方とは

【参考資料】 教育出版 「数学的な見方・考え方」を働かせ、豊かで確かなものとするために

根拠をもとに筋道立てて考え、統合的、発展的に考えること

低学年では

「はじめに」
「つぎに」

「ほかにも」
「おなじように」

ルールを
つかって考える



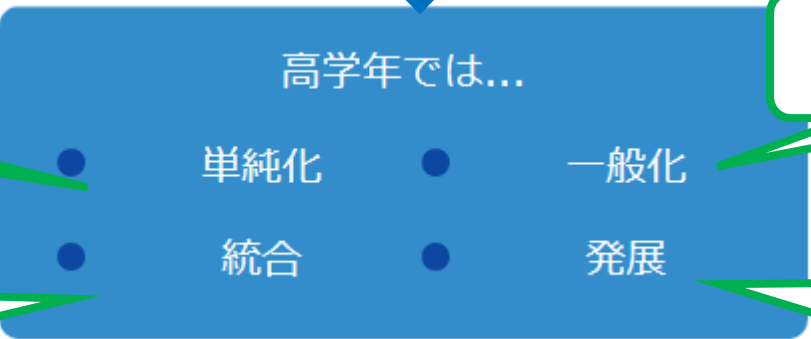
ルールをみつ
ける



「わかりやすく
言うと」

共通する点を
みつける

既習事項と
結びつけて考える



新たな視点から
捉えなおす

知識を活用して、
みんなで問題解決！

2 数学的活動とは

事象を数理的に捉えて、算数の問題を見出し、
問題を自立的・協働的に解決する過程を遂行すること

- 数量や図形を見出し、進んで関わる活動
- 日常の事象から見出した問題を解決する活動
- 算数の学習場面から見出した問題を解決する活動
- 数学的に表現し伝え合う活動

3 数学的表現とは

○操作表現→数の表し方や計算の仕方をブロックなどの操作で

表す。

○図表現→数直線や線分図、面積図など数の構成や演算決定に

関わるもの

○数式表現→問題を解決した思考過程を式で表現する。

○言語表現→解決の仕方を言葉で表す。

自分の考えた過程を言葉で書く。

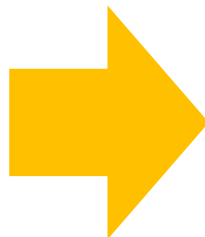
※数学的表現力の評

価へ

4 評価の観点

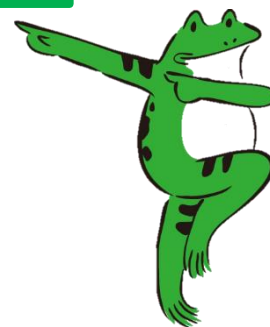
今まで

- 算数への関心・意欲・態度
- 数学的な考え方
- 数量や図形についての技能
- 数量や図形についての知識・理解



今回

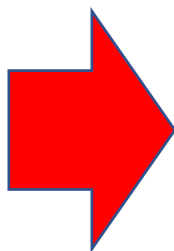
- 知識・技能
- 思考・判断・表現
- 主体的に学習に取り組む態度



これからの授業作り

今まで

何を知っているか。
何ができるか。



これから

どう考えるか



問題解決型授業

学習ゴールを見直していく！

- 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。
- 数学的な見方、考え方をどのように働かせて問題を取り組んだか。

算数を学び
賢くなったことは？

- それがどのように成長したか
- 学びの結果として新たに何ができるようになったのか

授業を終えて
身についた力は？

授業の「まとめ」のとりあつかい

今までは、終末時のみだったが、必要に応じて問題解決の過程について明示的に繰り返して行われることもある。

新教科書の
虫眼鏡マークを
チェック！



対話の難しい今、できることは？



対話的=会話、コミュニケーションだけではありません。「対話」を広く捉えることができます！

- ペア学習・グループ交流
「となりの人と話してみよう」
「グループで考えを交流しよう」
→ノートに書いて見せ合う、筆談交流等
- つぶやき・発表
 - ・つぶやきはジェスチャー、挙手で意見交流
 - ・発表内容は、ノートを大型画面に写して提示
 - ・紙やホワイトボードを使って考え方を提示

森の里小で既に
実践の取組です

今年度も森の里スタイルで
更に工夫し、
授業研究に取り組んでいきましょう！